

みんなでチャレンジ!

仕事と育児・家庭を

両立しやすい職場づくり



“働きがい”、“活躍できる仕事”が
企業の未来をつくる

実施しました

働き方の見直しに向けた取組

職場全体で仕事と育児・家庭の両立支援に取り組むことで、従業員の“働きがい”に加え、業務効率や生産性もさらに向上します。安心して長く働き、柔軟に活躍できる人材は業績アップの原動力となり企業の未来をつくります。

株式会社佐藤乳販【北秋田市】

業種:卸売・小売業 従業員数:50名 <http://www.shokuhin-sato.com>



地域密着サービスを支えるのは従業員の笑顔

(株)佐藤乳販が、それまで早朝がメインだった牛乳などの乳製品の宅配業務を昼間に移行したのは平成17年。昼間の時間帯に宅配を移すことで、お客さまとのコミュニケーションを深め、販売促進につなげるのが狙いでした。その主な戦力になったのが子育て世代の主婦層です。

早朝や9~17時の勤務は無理という主婦にとって、正・準社員、パートといった就業形態、業務シフトも要望に応じて設定できる勤務形態は好条件です。さらに子どもの病気や学校の行事・部活動の付き添いなどの場合も、それぞれのスケジュール調整で柔軟に対応。産・育休の取得や復帰、妊娠中の作業軽減にも細かく配慮し、正月やお盆には有休取得奨励日を設けて取得率向上を図りました。こうした取組で取得率は80%を達成。多くの主婦層が活躍の場を得ています。

求める戦力に適した働き方の提供は、同社の事業展開にも数多くの相乗効果をもたらしました。育児や主婦業をこなしながら元気に働く従業員は、同じ子育て世代や高齢者のお客さまに親近感を呼びました。特に家に閉じこもりがちな高齢者のなかには、



配達時のおしゃべりを楽しみにしている人もたくさんいます。高齢化・過疎化のすすむ地域も多いので、定期的な宅配は安否確認にも役立てられています。宅配事業を通じて巡回する仕事は、大切な地域サービスとして再認識されるようになりました。

子育て中でも無理なく活躍できる働き方と、地域に欠かせない見守りサービスを両立させた職場は、多くの従業員が“働きがい”を実感できる場になっています。

取組

- ・ 従業員の希望に応じた雇用形態と勤務シフト
- ・ 有休取得率向上のために取得奨励日を設定

従業員から

妊娠中は軽作業や事務職への転換で無理なく働き、産休中も面談などで準備を重ね、スムーズに復帰しました。子どもの病気や学校の行事なども、自分でスケジュールを調整して参加でき、育児や家族との時間も十分に楽しむことができます。子どもや家族の近況を宅配先のお客さまと語り合ったり、高齢者のご家庭では「子どもさん何歳になった?」「がんばっているね」と気軽に声をかけてもらうことも多いですね。子どもの成長や充実した家族との時間、私を待っていてくれるお客さん。そのどれもが大切なもの。今はこの経験を後進へのアドバイスに生かしています。



大館営業所主任 戸嶋さん

職場から

高齢化や過疎化がすすみ、宅配事業は地域や人をつなぐコミュニケーションサービスとしての存在価値が求められるようになりました。商品を届けるだけでなく、お客さん1人1人のからだと心の健康を気遣い、親交を深めることで地域と人をつなぐ役割を果たすことができます。それぞれのエリアをまわる従業員の明るい笑顔は、当社の事業展開の戦力なので、子育て中でも無理なくイキイキ働いてもらえる環境づくりは第一条件。笑顔でお客さんと向き合い、時にはお互いの家族の近況報告なども交えながらコミュニケーションを深め、地域と人を結び信頼関係を築いていきたいですね。



佐藤社長